

高等学校 英語科 シラバス

3年間のねらい、学習目標

英語によるコミュニケーションを行うための力を育成する。具体的には英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る素質・能力を育成することを目指す。

第1学年

【1】英語コミュニケーションⅠ（4単位） 【2】論理と表現Ⅰ（2単位）

第1学年	教科書	検定教科書
英語コミュニケーションⅠ (4単位)	副教材	後日案内

学習方法

- 英語コミュニケーションⅠでは、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の4技能5領域の力を育成することを目的とします。聞いたり読んだりしたことについての内容や、自分の考えを話したり書いたりする言語活動を行います。
- 学習していく語彙や文法は、実際のコミュニケーションではどのように使われるのかを意識しながら取り組んでください。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
<ul style="list-style-type: none"> 日常的に必要な事柄について、内容を聞き取ることができる。 自分自身や家族、学校など身の回りのことに関する会話や説明を聞き、イラストや写真などを参考にしながら理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な語彙や文法事項の知識を使って、簡単な文章を理解できる。 身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解できる。 自分の調べたい事柄について、おおまかな内容と要点が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや身近なことを、基本的な文を使って相手に理解してもらえる。 相手の言っていることが理解できないときに、簡単な表現で相手に質問ができる。 相手の言ってきたことに対して、自分の考えを簡単に述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の調べたことに対して、内容を踏まえて基本的な文章で発表できる。 聞き手にわかりやすいように伝えることができる。 聞き手からの質問に対して、簡単な答えを述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや身近なことに対して、自分の書きたいことを基本的な文法や語彙を使って書くことができる。 読み手に、自分が伝えたい内容を簡単な文章で書くことができる。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	基本的な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーション（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）に生かすことができる技能を身につけている。	身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に応じた基本的な対応ができ、話し手や書き手の意図をおおまかに理解できる。また、それに対しての自分の考えを簡単に述べるができる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文法や表現などを積極的に身につけて、自分の考えを簡単な英語で表現しようとする意欲がみられる。 話し手や書き手の意図をしつかりと理解しようとする姿勢がみられる。

年間シラバス 英語コミュニケーションⅠ（1年間の学習予定表）*詳細は担当者から後日連絡

学	教	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
---	---	----	--------------	------

期	材			
通年	検定教科書・副教材など	聞くこと	a.基本的な語彙や表現を聞き取ることができ、話し手の意図や話の内容を大まかに理解できる。 b.基本的な文章や会話を聞き、内容を理解して、そのことについての自分の考えを持てる。 c.話されている内容を積極的に聞こうとする姿勢が見られる。	定期考査（リスニング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		読むこと	a.基本的な語彙や文法事項の知識を身につけて、簡単な文章を理解できる。 b.身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。 c.書き手の意図や文章の内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。	定期考査（リーディング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		話すこと（やり取り）	a.自分のことや身近なことを述べるために、基本的な語彙や文法を身につけ、相手に述べるができる。 b.基本的な表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを述べるができる。 c.基本的な語彙や表現を用いて、相手に伝えようとする姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク スピーキングテストなど
		話すこと（発表）	a.自分の調べたことに対して、相手に伝えるための基本的な語彙や文法を身につけている。 b.基本的な語彙や表現を用いて、相手に自分の考えを伝えることができる。 c.基本的な語彙や表現を使い、相手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど
		書くこと	a.自分のことや身近なことに対して書くための、基本的な文法や語彙を身につけている。 b.基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えることができる。 c.基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	定期考査（ライティング） レポート 授業での取り組みなど

第1学年 論理と表現 I (2単位)	教科書	検定教科書
	副教材	後日案内

学習方法

- ・論理と表現では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の4技能5領域の力を、探究学習を通じて育成することを目的とする。ディスカッションによって、テーマについての意見を相手に伝えられるようになり、自らの興味関心のある分野に知識を深め、作文やプレゼンテーションで表現します。
- ・学習していく語彙や文法は、実際のコミュニケーションではどのように使われるのかを意識しながら取り組んでください。また、情報収集のスキルを身に付け、論理的に意見をまとめる力をつけさせます。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
・身近なテーマについての必要な事柄、内容を聞き取ることができる。 ・自分自身や家族、	・テーマ学習に必要な語彙や文法事項の知識を使って、簡単な文章を理解できる。	・自分のことや身近なことを、基本的な文法を使って相手に理解してもらえる。	・自分の調べたことに対して、内容を踏まえて基本的な文章で発表できる。	・自分のことや身近なことに対して、自分の書きたいことを基本的な文法や語彙を使っ

学校など身の回りのことに関する会話や説明を聞き、イラストや写真などを参考にしながら理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解できる。 自分の調べたい事柄について、おおまかな内容と要点が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の言っていることが理解できないときに、簡単な表現で相手に質問ができる。 相手の言ってきたことに対して、自分の考えを簡単に述べることができる。 グループワークに必要な助言、反応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手にわかりやすいように伝えることができる。 聞き手からの質問に対して、簡単な答えを述べることができる。 グループ活動で役割分担ができる。 効果的なプレゼンテーションに必要なスキルを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことができる。 読み手に、自分が伝えたい内容を簡単な文章で書くことができる。 論理的に意見を述べることができる。 効果的なプレゼンテーションをするために必要な原稿を書くことができる。
---	---	--	---	--

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	基本的な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーション（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）に生かすことができる技能を身につけている。	身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に応じた基本的な対応ができ、話し手や書き手の意図をおおまかに理解できる。また、それに対しての自分の考えを簡単に述べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文法や表現などを積極的に身につけて、自分の考えを簡単な英語で表現しようとする意欲がみられる。 話し手や書き手の意図をしっかり理解しようとする姿勢がみられる。

年間シラバス 論理と表現 I (1年間の学習予定表) *詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
通年	検定教科書・副教材など	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 基本的な語彙や表現を聞き取ることができ、話し手の意図や話の内容を大まかに理解できる。 b. 基本的な文章や会話を聞き、内容を理解して、そのことについての自分の考えを持てる。 c. 話されている内容を積極的に聞こうとする姿勢が見られる。 	定期考査（リスニング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		読むこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 基本的な語彙や文法事項の知識を身につけて、簡単な文章を理解できる。 b. 身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。 c. 書き手の意図や文章の内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。 	定期考査（リーディング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		話すこと（やり取り）	<ul style="list-style-type: none"> a. 自分のことや身近なことを述べるために、基本的な語彙や文法を身につけ、相手に述べるができる。 b. 基本的な表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを述べるができる。 c. 基本的な語彙や表現を用いて、相手に伝えようとする姿勢が見られる。 	授業での取り組み ペアワーク、グループワーク スピーキングテストなど
		話すこと（発表）	<ul style="list-style-type: none"> a. 自分の調べたことに対して、相手に伝えるための基本的な語彙や文法を身につけている。 b. 基本的な語彙や表現を用いて、相手に自分の考えを伝えることができる。 c. 基本的な語彙や表現を使い、相手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。 	授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど
		書くこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 自分のことや身近なことに対して書くための、基本的な文法や語彙を身につけている。 	定期考査（ライティング）

		b. 基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えることができる。 c. 基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	レポート 授業での取り組み など
--	--	---	------------------------

第2学年

(文理共通) 【1】英語コミュニケーションⅡ (3時間) 【2】論理と表現Ⅱ (2時間)

(文系のみ) 【3】英語特論A (2時間)

第2学年	教科書	検定教科書
英語コミュニケーションⅡ (3単位)	副教材	後日案内

学習方法

- ・英語コミュニケーションⅡでは、昨年度に続いて「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の4技能5領域を扱い、さらに伸ばすことを目的とします。引き続き、聞いたり読んだりしたことについての内容を理解したり、自分の考えを話したり書いたりする言語活動を行います。
- ・学習していく語彙や文法は、これまでに学んだことの復習も含め、実際のコミュニケーションでどのように使われるのか、また目的に応じた使い方を意識しながら取り組んでください。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
<ul style="list-style-type: none"> ・身近なトピックについて内容を聞き、自分に必要な情報を理解することができる。 ・英文を聞き、イラストや写真、資料などを参考にしながら内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んできた語彙や文法事項の知識を使って、様々な文章を理解できる。 ・様々なテーマについて書かれた文章や物語などをイラストや写真、資料などを参考にしながら内容を理解できる。 ・自分の調べたい事柄について必要な情報を理解し、要点が整理できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや身近なこと、興味関心のあるテーマについて、様々な表現を使って相手にわかりやすく理解してもらえらる。 ・相手の言っていることが理解できないときに、様々な表現で相手に質問ができる。 ・相手の言ってきたことに対して、自分の考えをわかりやすく述べるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたことに対して、内容を踏まえて様々な表現でわかりやすく発表できる。 ・聞き手にわかりやすいように、内容の軽重も考えながら伝えることができる。 ・聞き手からの質問に対して、答えを相手にわかりやすく述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なトピックについて、自分の書きたいことを学んできた語彙や表現を使って書くことができる。 ・読み手に、自分が伝えたい内容をわかりやすい文章で書くことができる。

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	学んできた英語の音声・語彙・表現・文法などの理解をさらに深め、実際のコミュニケーション(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)に生かすことができる技能を身につけている。	これまでに身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に適した対応ができ、話し手や書き手の意図を理解できる。また、それに対しての自分の考えを相手にわかりやすく述べるることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学んできた文法や表現などを用いて、自分の考えを英語でわかりやすく表現しようとする意欲がみられる。 ・話し手や書き手の意図をしっかりと理解しようとする姿勢がみられる。

年間シラバス 英語コミュニケーションⅡ (1年間の学習予定表) *詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
通年	検定教科書・副教材など	聞くこと	a.様々な語彙や表現を聞き取ることができ、話し手の意図や話の内容を理解できる。 b.身近なトピックに関する文章や会話を聞き、イラストなども参考にしながら内容を理解して、そのことについての自分の考えを持てる。 c.話されている内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。	定期考査（リスニング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		読むこと	a.様々な語彙や文法の知識を身につけて、いろんな種類の文章を理解できる。 b.身近なトピックに関する文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。 c.書き手の意図や文章の内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。	定期考査（リーディング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		話すこと（やり取り）	a.自分のことや身近なことを述べるために、基本的な語彙や表現を身につけ、相手に述べるができる。 b.基本的な表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを述べるができる。 c.基本的な語彙や表現を用いて、相手に伝えようとする姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク スピーキングテストなど
		話すこと（発表）	a.自分の調べたことに対して、相手に伝えるための様々な語彙や文法を身につけている。 b.様々な語彙や表現を用いて、相手に自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 c.様々な語彙や表現を使い、相手に自分の考えをわかりやすく伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど
		書くこと	a.身近なトピックについて書くための、様々な語彙や表現を身につけている。 b.様々な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 c.様々な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	定期考査（ライティング） レポート 授業での取り組みなど

第2学年 論理と表現Ⅱ (2単位)	教科書	検定教科書
	副教材	後日案内

学習方法

- ・論理と表現では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の4技能5領域の力を、探究学習を通じて育成することを目的とします。ディスカッションによって、テーマについての意見を相手に伝えられるようになり、自らの興味関心のある分野に知識を深め、作文やプレゼンテーションで表現します。
- ・学習していく語彙や文法は、実際のコミュニケーションではどのように使われるのかを意識しながら取り組んでください。また、情報収集のスキルを身に付け、論理的に意見をまとめる力をつけさせます。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
・グローバルなテーマについての必要な事柄、内容を聞き取ることが	・テーマ学習に必要な語彙や文法事項の知識を使って、簡単な文章を	・自分のことや身近なことを、基本的な文を使って相手に理解してもら	・自分の調べたことに対して、内容を踏まえて基本的な文章で発表でき	・自分のことや身近なことに対し、自分の書きたいことを基本的な

<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身や家族、学校など身の回りのことに関する会話や説明を聞き、イラストや写真などを参考にしながら理解できる。 ・情報収集のために知識を得ることができる。 	<p>理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解できる。 ・自分の調べたい事柄について、おおまかな内容と要点が理解できる。 	<p>える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の言っていることが理解できないときに、簡単な表現で相手に質問ができる。 ・相手の言ってきたことに対して、自分の考えを簡単に述べることができる。 ・共有作業に必要な助言、反応ができる。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手にわかりやすいように伝えることができる。 ・聞き手からの質問に対して、簡単な答えを述べることができる。 ・グループ活動で役割分担ができる。 ・効果的なプレゼンテーションに必要なスキルを身につける。 	<p>文法や語彙を使って書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手に、自分が伝えたい内容を簡単な文章で書くことができる。 ・論理的に意見を述べることができる。 ・効果的なプレゼンテーションをするために必要な原稿を書くことができる。
--	---	---	---	--

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	<p>基本的な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーション（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）に生かすことができる技能を身につけている。</p>	<p>身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に応じた基本的な対応ができ、話し手や書き手の意図をおおまかに理解できる。また、それに対しての自分の考えを簡単に述べることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法や表現などを積極的に身につけて、自分の考えを簡単な英語で表現しようとする意欲がみられる。 ・話し手や書き手の意図をしつかりと理解しようとする姿勢がみられる。

年間シラバス 論理と表現Ⅱ（1年間の学習予定表）＊詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
1学期	検定教科書・副教材など	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 基本的な語彙や表現を聞き取ることができ、話し手の意図や話の内容を大まかに理解できる。 b. 基本的な文章や会話を聞き、内容を理解して、そのことについての自分の考えを持てる。 c. 話されている内容を積極的に聞こうとする姿勢が見られる。 	<p>定期考査（リスニング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など</p>
		読むこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 基本的な語彙や文法事項の知識を身につけて、簡単な文章を理解できる。 b. 身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。 c. 書き手の意図や文章の内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。 	<p>定期考査（リーディング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など</p>
		話すこと（やり取り）	<ul style="list-style-type: none"> a. 自分のことや身近なことを述べるために、基本的な語彙や文法を身につけ、相手に述べるができる。 b. 基本的な表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを述べるができる。 c. 基本的な語彙や表現を用いて、相手に伝えようとする姿勢が見られる。 	<p>授業での取り組み ペアワーク、グループワーク スピーキングテストなど</p>
		話すこと（発表）	<ul style="list-style-type: none"> a. 自分の調べたことに対して、相手に伝えるための基本的な語彙や文法を身につけている。 b. 基本的な語彙や表現を用いて、相手に自分の考えを伝えることができる。 c. 基本的な語彙や表現を使い、相手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。 	<p>授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど</p>
		書くこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 自分のことや身近なことに対して書くための、基本的 	<p>定期考査</p>

		<p>な文法や語彙を身につけている。</p> <p>b. 基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えることができる。</p> <p>c. 基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。</p>	<p>(ライティング) レポート 授業での取り組み など</p>
--	--	---	--

<p>第2学年 (文系) 英語特論A (2単位)</p>	教科書	検定教科書
	副教材	後日案内

学習方法

- ・英語特論 A では、英語コミュニケーション I・II や論理と表現 I・II で学んできたことを踏まえて、様々な教材を用いながら「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の4技能5領域をさらに伸ばし、文法事項の復習・応用も学習しつつ、実際のコミュニケーションの場面で応用できる力を育成することを目的とします。
- ・英語多読用の本なども用いて、4技能5領域の力の伸長を図ります。目標としているスコアの取得や検定の合格を目指す取り組みも行います。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な内容のトピックや簡単な海外のニュースなどを聞き、自分に必要な情報を理解することができる。 ・英文を聞き、イラストや写真、資料などを参考にしながら内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んできた語彙や文法事項の知識を整理し、様々なレベルの文章を理解できる。 ・幅広いテーマについて書かれた文章や物語などを、書き手の心情にも触れながら内容を理解できる。 ・目的に応じた読み方ができ、必要な情報を理解し、要点が整理できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広いテーマについて、様々な表現を使って相手にわかりやすく理解してもらえる。 ・相手の言っていることが理解できないときに、的確な表現で相手に質問ができる。 ・相手の言ってきたことに対して、自分の考えをわかりやすく的確に述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んでいるトピックについて、要点をおさえながら、様々な表現で的確に発表できる。 ・聞き手にわかりやすいように、展開も考えながら伝えることができる。 ・聞き手からの質問に対して、答えを相手にわかりやすく述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んでいるトピックについて、自分の書きたいことを的確な語彙や表現を使って書くことができる。 ・読み手に、自分が伝えたい内容をわかりやすい文章で的確に書くことができる。

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	英語の音声・語彙・表現・文法などの理解をさらに深め、実際のコミュニケーション(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)に生かすことができる技能を身につけている。	身につけた英語の知識や技能を用いて、様々なトピックについて内容の把握や話し手や書き手の意図を理解でき、それに対しての自分の考えを相手にわかりやすく的確に述べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んでいるトピックについて、その内容をしっかりと理解し、自分の考えを組み立てようとする姿勢が見られる。 ・資格取得のための学習に積極的に励んでいる。

年間シラバス 英語特論A (1年間の学習予定表) *詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
通年	指定	聞くこと	a. 取り組んでいるトピックに関する語彙や表現を聞き取ることができ、話し手の意図や話の内容をおおまかに	定期考査(リスニング)

された教科書・副教材など		理解できる。 b.取り組んでいるトピックを聞き、資料なども参考にしながらその内容を理解して、そのことについての自分の考えを持てる。 c.話されている内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。	授業での取り組み 小テスト・提出物など
	読むこと	a.取り組んでいるトピックに関する語彙や表現・文法の知識を身につけて、いろいろな種類の文章を理解できる。 b.取り組んでいるトピックに関する文章をイラストや写真なども参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。 c.書き手の意図や文章の内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。	定期考査（リーディング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
	話すこと（やり取り）	a.取り組んでいるトピックについての基本的な語彙や表現を身につけ、相手に述べるができる。 b.目的に応じた表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを述べるができる。 c.目的に応じた語彙や表現を用いて、相手に伝えようとする姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク スピーキングテストなど
	話すこと（発表）	a.取り組んでいるトピックに対して、相手に伝えるための様々な語彙や文法を身につけている。 b.目的に応じた語彙や表現を用いて、相手に自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 c.目的に応じた語彙や表現を使い、相手に自分の考えをわかりやすく伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど
	書くこと	a.取り組んでいるトピックについて書くための、様々な語彙や表現を身につけている。 b.目的に応じた語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 c.目的に応じた語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	定期考査（ライティング） レポート 授業での取り組みなど

第3学年

- （文理共通） 【1】 英語コミュニケーションⅢ（3時間） 【2】 論理と表現Ⅲ（2時間）
（文系のみ） 【3】 英語特論 B（2時間） 【4】 時事英語（2時間）

第3学年	教科書	検定教科書
英語コミュニケーションⅢ （3単位）	副教材	後日案内

学習方法

- ・英語コミュニケーションⅢでは、これまで同様「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の4技能5領域を扱い、それぞれの領域でしっかりと力をつけることを目的とします。聞いたり読んだりしたことについての内容をより深く理解したり、自分の考えを相手にわかりやすく、論理的に話したり書いたりする言語活動を行います。
- ・これまでに学んできた語彙や文法を応用し、実際のコミュニケーションでどのように使われるのか、どのように応用すると効果的なのかを意識しながら取り組んでください。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
・身近なトピック	・様々な語彙や文	・身近なことや興	・自分の調べたこ	・身近なトピック

<p>や社会的なテーマについて内容を聞き取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話やニュース、講義などの内容をイラストや写真、資料などを参考にしながら理解できる。 	<p>法の知識を使って、いろいろな種類の文章を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的なテーマに関する文章や物語などを、イラストや写真、資料などを参考にしながら内容を理解できる。 ・いろいろな種類の読み物を通して、自分の調べたい事柄について必要な情報を理解し、要点が整理できる。 	<p>味関心のあるテーマ、また社会的なテーマについて、様々な表現を使って相手にわかりやすく伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の言っていることが理解できないときに、適した表現で相手に質問ができる。 ・相手の言ってきたことに対して、自分の考えをわかりやすく論理的に述べることができる。 	<p>とに対して、内容を踏まえて様々な表現でわかりやすく論理的に発表できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手にわかりやすいように、聞き手の立場も考えながら伝えることができる。 ・聞き手からの質問に対して、答えを相手にわかりやすく的確に述べることができる。 	<p>や社会的なテーマについて、自分の書きたいことを様々な語彙や表現を使って書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手のことを考えながら、自分が伝えたい内容をわかりやすい文章で論理的に書くことができる。
---	---	--	---	--

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	<p>様々な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、実際のコミュニケーション（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）に生かすことができる技能を身につけている。</p>	<p>様々な英語の知識や技能を用いて、目的や状況に適した対応ができ、話し手や書き手の意図を理解できる。また、それに対しての自分の考えを相手にわかりやすく論理的に述べることができる。</p>	<p>・様々な文法や表現などを用いて、自分の考えを英語でわかりやすく論理的に表現しようとする意欲がみられる。</p> <p>・話し手や書き手の意図や心情をしっかりと深く理解しようとする姿勢がみられる。</p>

年間シラバス 英語コミュニケーションⅢ（1年間の学習予定表） *詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
通年	検定教科書・副教材など	聞くこと	<p>a.身近なトピックや社会的なテーマについて内容を聞き取ることができ、話の内容を理解できる。</p> <p>b.ニュースや講義などを聞き、資料なども参考にしながら内容を理解して、そのことについての自分の考えを持つ。</p> <p>c.話されている内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。</p>	<p>定期考査（リスニング）</p> <p>授業での取り組み 小テスト・提出物など</p>
		読むこと	<p>a.幅広い語彙や文法の知識を身につけて、いろいろな種類の文章を理解できる。</p> <p>b.社会的なテーマに関する文章を資料なども参考にしながら内容を論理的に理解でき、自分の考えを持つことができる。</p> <p>c.書き手の意図や文章の内容を積極的、かつ論理的に理解しようとする姿勢が見られる。</p>	<p>定期考査（リーディング）</p> <p>授業での取り組み 小テスト・提出物など</p>
		話すこと（やり取り）	<p>a.身近なことや社会的なテーマに関する事柄を述べるための的確な語彙や表現を身につけ、論理的に述べるができる。</p> <p>b.様々な表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを論理的に述べるができる。</p> <p>c.幅広い語彙や表現を用いて、相手に積極的に伝えようとする姿勢が見られる。</p>	<p>授業での取り組み ペアワーク スピーキングテストなど</p>
		話すこと（発表）	<p>a.興味関心のある記事やレポートに対して、相手に要点を伝えるための様々な語彙や文法を身につけている。</p>	<p>授業での取り組み ペアワーク</p>

		<p>b.様々な表現を用いて、相手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。</p> <p>c.幅広い語彙や表現を使い、相手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えようとする、積極的な姿勢が見られる。</p>	プレゼンテーションなど
	書くこと	<p>a.社会的なテーマに関する事柄や興味関心のあることについて書くための、幅広い語彙や表現を身につけている。</p> <p>b.様々な表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。</p> <p>c.様々な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく、論理的に伝えようとする積極的な姿勢が見られる。</p>	定期考査 (ライティング) レポート 授業での取り組みなど

第3学年 論理と表現Ⅲ (2単位)	教科書	検定教科書
	副教材	後日案内

学習方法

- ・論理と表現では、探究学習を通じて「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」の4技能5領域の力を育成することを目的とします。ディスカッションによって、テーマについての意見を相手に伝えられるようになり、自らの興味関心のある分野に知識を深め、作文やプレゼンテーションで表現します。
- ・学習していく語彙や文法は、実際のコミュニケーションではどのように使われるのかを意識しながら取り組んでください。また、情報収集のスキルを身に付け、論理的に意見をまとめる力をつけさせます。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
<ul style="list-style-type: none"> ・社会問題についての必要な事柄、内容を聞き取ることができる。 ・自分自身や家族、学校など身の回りのことに関する会話や説明を聞き、イラストや写真などを参考にしながら理解できる。 ・情報収集のために知識を得ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ学習に必要な語彙や文法事項の知識を使って、簡単な文章を理解できる。 ・身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解できる。 ・自分の調べたい事柄について、おおまかな内容と要点が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや身近なことを、基本的な文を使って相手に理解してもらえる。 ・相手の言っていることが理解できないときに、簡単な表現で相手に質問ができる。 ・相手の言ってきたことに対して、自分の考えを簡単に述べることができる。 ・共有作業に必要な助言、反応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調べたことに対して、内容を踏まえて基本的な文章で発表できる。 ・聞き手にわかりやすいように伝えることができる。 ・聞き手からの質問に対して、簡単な答えを述べることができる。 ・グループ活動で役割分担ができる。 ・効果的なプレゼンテーションに必要なスキルを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや身近なことに対して、自分の書きたいことを基本的な文法や語彙を使って書くことができる。 ・読み手に、自分が伝えたい内容を簡単な文章で書くことができる。 ・論理的に意見が述べることができる。 ・効果的なプレゼンテーションをするために必要な原稿を書くことができる。

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規	基本的な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニ	身につけた英語の知識や技能を用いて、目的や状況に応じた基本的な対応ができ、話し手や	・基本的な文法や表現などを積極的に身につけて、自分の考えを簡単な英語で表現しようと

準	ケーション（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）に生かすことができる技能を身につけている。	書き手の意図をおおまかに理解できる。また、それに対しての自分の考えを簡単に述べることができる。	する意欲がみられる。 ・話し手や書き手の意図をしっかりと理解しようとする姿勢がみられる。
---	---	---	---

年間シラバス **論理と表現Ⅲ**（1年間の学習予定表）＊詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
通年	検定教科書・副教材など	聞くこと	a.基本的な語彙や表現を聞き取ることができ、話し手の意図や話の内容を大まかに理解できる。 b.基本的な文章や会話を聞き、内容を理解して、そのことについての自分の考えを持てる。 c.話されている内容を積極的に聞こうとする姿勢が見られる。	定期考査（リスニング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		読むこと	a.基本的な語彙や文法事項の知識を身につけて、簡単な文章を理解できる。 b.身近な事柄について書かれた文章をイラストや写真などを参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。 c.書き手の意図や文章の内容を積極的に理解しようとする姿勢が見られる。	定期考査（リーディング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		話すこと（やり取り）	a.自分のことや身近なことを述べるために、基本的な語彙や文法を身につけ、相手に述べるができる。 b.基本的な表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを述べるができる。 c.基本的な語彙や表現を用いて、相手に伝えようとする姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク、グループワーク スピーキングテストなど
		話すこと（発表）	a.自分の調べたことに対して、相手に伝えるための基本的な語彙や文法を身につけている。 b.基本的な語彙や表現を用いて、相手に自分の考えを伝えることができる。 c.基本的な語彙や表現を使い、相手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど
		書くこと	a.自分のことや身近なことに対して書くための、基本的な文法や語彙を身につけている。 b.基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えることができる。 c.基本的な語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えを伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	定期考査（ライティング） レポート 授業での取り組みなど

第3学年 （文系） 英語特論B （2単位）	教科書	後日案内
	副教材	後日案内

学習方法

- ・英語特論 B では、英語特論 A で学んだことをさらに発展させて、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲや論理と表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んできたことも踏まえて、様々な教材を用いながら「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の4技能5領域を引き続き伸ばしていく取り組みを行います。これまで学んできた文法事項の復習・応用も学習し、実際のコミュニケーションの場面での確に英語で表現できる力を育成することを目的とします。
- ・英語特論 A と同じように、英語多読用の本なども用いて、4技能5領域の力の伸長を図ります。目標としているスコアの取得や検定の合格を目指す取り組みも行います。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
<ul style="list-style-type: none"> 身近な内容のトピックや英語のニュースや物語などを聞き取り、内容を深く理解できる。 英文を聞き、イラストや写真、資料などを参考にしながら内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んできた語彙や文法事項の知識を整理し、様々なレベルの文章を理解できる。 幅広いテーマについて書かれた文章や物語などを、書き手の心情にも触れながら内容を理解できる。 目的に応じた読み方ができ、必要な情報を理解し、要点が整理できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広いテーマについて、様々な表現を使って論理的にわかりやすく相手に伝えることができる。 相手の言っていることが理解できないときに、的確な表現で相手に質問ができる。 相手の言ってきたことに対して、自分の考えをわかりやすく論理的に述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なトピックについて、要点をおさえながら、様々な表現で的確に論理的に発表できる。 聞き手にわかりやすいように、構成も考えながら伝えることができる。 聞き手からの質問に対して、答えを相手にわかりやすく述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組んでいるトピックについて、自分の書きたいことを的確な語彙や表現を使って論理的に書くことができる。 読み手に、自分が伝えたい内容をわかりやすい文章で書くことができる。

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	様々な英語の音声・語彙・表現・文法などの理解を深め、実際のコミュニケーション（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）に生かすことができる技能を身につけている。	身につけた英語の知識や技能を用いて、様々なトピックについて内容の把握や話し手や書き手の意図を理解でき、それに対しての自分の考えを相手にわかりやすく論理的に述べるができる。	<ul style="list-style-type: none"> 取り組んでいるトピックについて、その内容をしっかりと理解し、自分の考えを論理的に組み立てようとする姿勢が見られる。 資格取得のための学習に積極的に励んでいる。

年間シラバス **英語特論 B** (1年間の学習予定表) *詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
通年	指定された教科書・副教材など	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 取り組んでいるトピックに関する語彙や表現を聞き取ることができ、話し手の意図や話の内容を理解できる。 b. 取り組んでいるトピックを聞き、資料なども参考にしながらその内容を理解して、そのことについての自分の考えを持てる。 c. 話されている内容を論理的に理解しようとする積極的な姿勢が見られる。 	定期考査（リスニング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		読むこと	<ul style="list-style-type: none"> a. 取り組んでいるトピックに関する語彙や表現・文法の知識を身につけて、いろんな種類の文章を理解できる。 b. 取り組んでいるトピックに関する文章をイラストや写真なども参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。 c. 書き手の意図や文章の内容を論理的に理解しようとする積極的な姿勢が見られる。 	定期考査（リーディング） 授業での取り組み 小テスト・提出物など
		話すこと (やり取り)	<ul style="list-style-type: none"> a. 取り組んでいるトピックについて述べるができる語彙や表現を身につけている。 b. 目的に応じた表現を使い、相手の言ったことに対して自分の考えを述べるができる。 c. 目的に応じた語彙や表現を用いて、相手に論理的に伝 	授業での取り組み ペアワーク スピーキングテストなど

		えようとする積極的な姿勢が見られる。	
	話すこと (発表)	a. 取り組んでいるトピックに対して、的確に相手に伝えるための様々な語彙や文法を身につけている。 b. 目的に応じた語彙や表現を用いて、相手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。 c. 目的に応じた語彙や表現を使い、相手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど
	書くこと	a. 取り組んでいるトピックについての的確に書くための、様々な語彙や表現を身につけている。 b. 目的に応じた語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。 c. 目的に応じた語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えようとする積極的な姿勢が見られる。	定期考査 (ライティング) レポート 授業での取り組み など

第3学年 (文系) 時事英語 (2単位)	教科書	後日案内
	副教材	後日案内

学習方法

- ・時事英語では、世界で何が起きているのかを英語のニュースや記事を通して知り、それについて自分の考えを述べる取り組みを行います。

学習到達目標

聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
<ul style="list-style-type: none"> ・英語のニュースを聞き取り、内容を深く理解できる。 ・英文を聞き、写真、資料などを参考にしながら内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のニュース記事などの内容を理解できる。 ・目的に応じた読み方ができ、必要な情報を理解し、要点が整理できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱っているテーマについて、様々な表現を使って論理的にわかりやすく相手に伝えることができる。 ・相手の意見に対して、自分の考えをわかりやすく論理的に述べる事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱っているテーマについて、要点をおさえながら、様々な表現で的確に論理的に発表できる。 ・聞き手にわかりやすいように、構成も考えながら伝えることができる。 ・聞き手からの質問に対して、答えを相手にわかりやすく述べる事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んでいるトピックについて、自分の考えを的確な語彙や表現を使って論理的に書くことができる。 ・読み手に、自分が伝えたい内容をわかりやすい文章で書くことができる。

評価の観点

	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	世界で起きていることなどを英語のニュースや記事を通して理解し、それをコミュニケーションに生かすことができる。	身につけた英語の知識や技能を用いて、様々なトピックについて内容を理解し、自分の考えを相手にわかりやすく論理的に述べる事ができる。	・取り組んでいるトピックについて、その内容をしっかりと理解し、自分の考えを論理的に組み立てようとする姿勢が見られる。

年間シラバス **時事英語** (1年間の学習予定表) *詳細は担当者から後日連絡

学期	教材	領域	学習のポイントと到達目標	評価方法
通年	指定された教科書・副教材など	聞くこと	<p>a. 英語のニュースの語彙や表現を聞き取ることができ、内容を理解できる。</p> <p>b. 英語のニュースを聞き、資料なども参考にしながらその内容を理解して、自分の考えを持てる。</p> <p>c. 内容を論理的に理解しようとする積極的な姿勢が見られる。</p>	<p>定期考査（リスニング）</p> <p>授業での取り組み 小テスト・提出物など</p>
		読むこと	<p>a. 英語ニュース記事の語彙や表現の知識を身につけて、内容を理解できる。</p> <p>b. 英語のニュース記事をイラストや写真なども参考にしながら内容を理解でき、自分の考えを持つことができる。</p> <p>c. 英語のニュース記事の構成や内容を理解しようとする積極的な姿勢が見られる。</p>	<p>定期考査（リーディング）</p> <p>授業での取り組み 小テスト・提出物など</p>
		話すこと (やり取り)	<p>a. 取り扱っている英語のニュース・記事について自分の考えを述べるができる語彙や表現を身につけている。</p> <p>b. 相手の言ったことに対して、適切な語彙や表現を使って自分の考えを述べるができる。</p> <p>c. 目的に応じた語彙や表現を用いて、相手に論理的に伝えようとする積極的な姿勢が見られる。</p>	<p>授業での取り組み ペアワーク スピーキングテストなど</p>
		話すこと (発表)	<p>a. 取り組んでいる英語のニュース・記事に対して、的確に相手に伝えるための様々な語彙や文法を身につけている。</p> <p>b. 目的に応じた語彙や表現を用いて、相手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。</p> <p>c. ニュース記事で使われている語彙や表現を上手に使い、相手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えようとする積極的な姿勢が見られる。</p>	<p>授業での取り組み ペアワーク プレゼンテーションなど</p>
		書くこと	<p>a. 取り組んでいる英語のニュース・記事について自分の意見を的確に書くための、様々な語彙や表現を身につけている。</p> <p>b. 目的に応じた語彙や表現を用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えることができる。</p> <p>c. ニュース記事で使われている語彙や表現を上手に用いて、読み手に自分の考えをわかりやすく論理的に伝えようとする積極的な姿勢が見られる。</p>	<p>定期考査 (ライティング) レポート 授業での取り組み など</p>